

大学生の能登地域における民俗行事参加による地域の活性化

学生団体名：学生援農隊あぐり(石川県立大学)

参加学生：連秀馬・鈴木春香・森田孝治・北條賢史・石川実穂 その他 15名

1. 地域活動の概要

現在、能登地域では多くの農村伝統事業が継承されています。しかし、過疎化と少子高齢化による人手不足と後継者不足によって、地域の伝統行事の継承と維持が困難になってきています。そこで私たち大学生が「都市農村交流」という形で伝統行事振興に協力しています。七尾市中島町で行われる行事を中心に、「小牧壮年団」という団体の一員になり、伝統行事を盛り上げてきました。視聴者には、私たちの活動報告を通して少しでも伝統行事に興味を持ってもらえればいいと思います。

2. 活動の具体的な内容

6月9日、10日に小牧壮年団の方たちとともに虫送りに参加しました。準備から行い、虫送り後は振舞ってくれた料理をみんなで囲み、親睦を深めました。10日には貝拾いや釣りなども教えてもらいました。9月18日、19日、20日にはお熊甲祭りに参加しました。18日は小牧白山社祭りに参加し、神輿を担いで集落を練り歩きました。19日はイダコ釣りを教えてもらい、午後からはお熊甲祭りの準備をみんなで行い、夜には神様を迎えるという奉幣の迎えにも参加しました。20日はお熊甲祭りに参加しました。大きな杵旗や神輿をみんなで担ぎ、最後には加茂原で「島田崩し」を行いました。



島田崩し

3. 今回の地域活動の評価

私たちが参加した虫送りやお熊甲祭りは過疎化や少子高齢化などの問題を抱えつつも、活気あふれる伝統行事で地域の方々から元気をたくさんもらえるようなとても素晴らしいものでした。小牧壮年団の方たちは私たちのことを手伝ってくれる大学生としてではなく、「仲間」として迎え入れてくれるので、すぐに交流を深めることも出来たし、楽しい活動にすることも出来ました。

4. 今後、この活動を維持、活発化していくために必要なもの、及び課題

まず、サークルの活動としてこのような活動に参加することをしっかりと後輩に伝えていき、地域活動を継続化していきたいと思います。また、今回はサークルの新入部員が多いことや授業としての参加が多かったため、祭りをとても盛り上げることが出来たと思っています。そのため、授業を含め気軽に地域活動に参加できるような計画を立てていければいいと思っています。

5. 学生の感想

全体的に楽しかった、感動したという意見が多く寄せられました。私たち学生はこのような活動に参加する機会が少ないというのもあり、多くの学生がいい体験が出来たと思います。これからもこのような感動が次にやってくる後輩たちにも感じてもらえるよう地域活動への参加に貢献していきたいと思っています。

6. 地域からの評価

地域の方からは今年は参加人数が多くて、久しぶりに一番大きな杵旗を出せたのがとても嬉しかったという意見をもらいました。これは私たちも同じで、みんなで大きな杵旗を担ぎ、島田崩しが出来たときはとても感動し、逆に参加させてもらってありがとうございましたという気持ちになりました。